概要説明書

朝日・高根地域　『保育園』と『小中学校が一つになった義務教育学校』との深い連携を図る

保育園

９年間義務教育学校

義務教育学校と保育園とのつながりをさらに深め、幼少期から中学校卒業まで、郷土教育を中核とする系統的な育成方針のもと、地域ぐるみで子どもの育成を目指す。

朝日・高根地域の自然・歴史・文化・産業等についての体験や講話等による学習を積み上げる

保育園・学校・家庭・地域の連携による郷土学習の企画

【朝高ならではの郷土学習の具体例】
- ふるさと先生による郷土学習の展開・学習支援
- 伝統文化の継承・環境教育（川遊び、登山等）
- 書道、版画、竹細工の学び
- スキー等のクラブ活動の推進
- 地域の魅力を全国へ発信するデジタル学習
- 地域資源の紹介などによる他校との交流
- 地域を理解した防災学習
- ボランティアによる読み聞かせ

など

【地域ぐるみの郷土学習による効果】
- ふるさとに生きる人々とのつながり生き方を学ぶ。
  ➡人権問題や平和問題など社会的な問題を考えられる子
- ふるさとのために自分ができることを考えて行動する。
  ➡自主性、積極性の高いたくましい子
- ふるさとの魅力を学習しふるさとの良さを知る。
  ➡どこに住んでもふるさとを思い、貢献できる子

現在（令和３年度）の保育園

<保育園>
■保育理念
家庭との連携の下、一人ひとりの子どもの最善の利益を考慮し、愛情豊かな環境の中で人間形成の基礎を培い、「生きる喜びを持てる子」を育てます。

■保育方針
- 遊びや生活の中で、豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする「知識及び技能の基礎」を育みます。
- 遊びや生活の中で、気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、判断力、表現力等の基礎」を育みます。
- 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」を育みます。

■めざす子どもの姿
生きる喜びを持てる子
健康で明るい子、思いやりのある子、意欲のある子

連携の強化

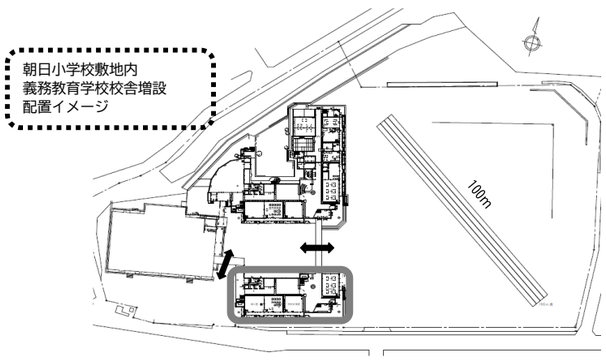
現在（令和３年度）の小中学校

<小学校>
■教育目標
ふるさとを愛し　夢に向かって　たくましく生きる子

■学校経営方針
- なりたい自分を磨き、苦手や困難を乗り越えるたくましさをもつ児童を育てる「たくましさ」
- ふるさとを愛し誇りに思い、ふるさとに貢献しようとする児童を育てる「郷土愛」

<中学校>
■教育目標
自立　一人で判断して行動できる
共生　人と関わり共に生きる

■指導重点
- 自立　自信をつける授業・家庭学習
  自信をもたせる自治活動
- 共生　人との違いを堂々と出し、受け入れる活動
  差別を許さない自治活動

●義務教育学校
義務教育９年間の学校教育目標を設定し、９年間の系統性を確保した教育課程を編成・実施する学校である。
- １つの学校。校長１人、教頭２人、副校長が配置される場合もある。
- 職員室は１つ。
- 同じ敷地内にある一つの施設を使う。
- ９年間を見通した計画（教育課程）より一貫した教育が進む。
- 状況にもよるが、専科の教員指導による学習がさらに進む。
- 物理的な距離がなくなり、異学年との交流がさらにしやすくなる。
- 学校が一つになることで、これまで以上に系統的な郷土学習が可能になり、地域との双方向のかかわりを充実させることができる。
- 一般的に中学校入学時の環境の変化にもスムーズに対応でき、９年間安心して学び続けることができる。
  （「中１ギャップ」と呼ばれる不安や戸惑いの解消につながる。）

朝日小学校敷地内
義務教育学校校舎増設
配置イメージ